

平成 26 年 労働条件実態調査への御協力へのお願い

平成 26 年 7 月

平素は本県の労働行政の推進につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、滋賀県では、民営事業所で雇用されている労働者の方々の労働条件を明らかにすることにより、雇用管理等の改善と労使関係の安定を図るための基礎資料を作成することを目的に統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく届出統計として「労働条件実態調査」を実施しております。

本調査の対象事業所として、従業者 10 人以上の事業所から産業別、規模別に無作為で 1,000 社を選びましたところ、本年は貴事業所に調査への御協力をお願いすることとなりました。回答された内容については、統計以外の目的に使用したり、他に漏れたりすることは絶対にありませんので、御多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

1. 企業全体ではなく、この調査票の送付先である **貴事業所のみ**の状況についてご記入ください。（調査対象が本店となっている場合は、本店のみについてご記入ください。）

なお、貴事業所のみで判断できない項目や把握できない項目については、お手数ですが本店等にご確認のうえ回答してください。

2. 調査時点は特に断りのない限り **平成 26 年(2014 年) 6 月 30 日現在**です。

3. この調査でいう「制度」とは、労働協約、就業規則等に明示されているものだけでなく、多年にわたる実績があり、現在、慣行として行われているものも含まれます。現在の慣行が就業規則等に明示されているものと異なっている場合には、現在の慣行の方についてご記入ください。

4. 回答につきましては、**別添の回答用紙にご記入ください**。ご記入いただきましたら、**7 月 31 日（木）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函**願います。

5. 事業所を閉鎖されたり、休業中の場合は、お手数ですがご連絡願います。

お問い合わせ先

滋賀県商工観光労働部 労働雇用政策課
労政福祉担当：中川
〒520-8577 大津市京町四丁目 1 番 1 号
TEL：077-528-3751

※調査結果は平成 27 年 2 月に県庁ホームページに掲載して公表する予定です。また、冊子の作成も行いますので、ご希望される場合は、回答用紙の所定の欄に○印をつけてください。

【基本事項】

設問 0 1. 貴事業所の事業内容は何か。

※企業全体ではなくこの調査票をお送りしている事業所の事業内容を記入してください。
※2つ以上該当する場合は、主たる業務を一つだけ選んでください。

《事業内容》

1. 建設業
2. 製造業
3. 運輸業（倉庫業など、運輸に付帯するサービス業を含む）・通信業
4. 卸売・小売業
5. 金融・保険業
6. 飲食店、宿泊業
7. 医療、福祉
8. 教育、学習支援業
9. サービス業（駐車場業、娯楽業、自動車整備業、廃棄物処理業、宗教を含む）

設問 0 2. 貴事業所の正規社員・正規職員、非正規社員・非正規職員および派遣労働者はそれぞれ何人ですか。回答用紙の所定欄にご記入ください。該当する方がいない場合は 0 を記入してください。

※企業全体ではなく、この調査票をお送りしている事業所について回答してください。
※非正規社員・非正規職員とは、「パートタイマー」「アルバイト」「契約社員」「臨時社員」など呼び方は異なっても、正規社員・正規職員としてあてはまらない場合に該当します。なお、「派遣労働者」は除いてください。

《労働者数》

	正規社員・正規職員数	非正規社員・非正規職員数	派遣労働者数
男性	人	人	人
女性	人	人	人
合計	人	人	人

設問 0 3. 貴事業所において係長以上の管理職はそれぞれ何人ですか。回答用紙の所定欄にご記入ください。該当する方がいない場合は 0 を記入してください。

※管理職には企業の組織形態の各部署において、配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれている役職を含みます。
※部長・課長等の役職名を採用していない場合や、次長等役職欄にない職については、どの役職に該当するか適宜判断してください。

《管理職者数》

	役員	部長相当職	課長相当職	係長相当職
男性	人	人	人	人
女性	人	人	人	人
合計	人	人	人	人

※ 設問24で「実施している」の「1」～「13」のいずれかを選んだ事業所のみ回答してください。

設問25. 女性が活躍するための取組み（ポジティブ・アクション）の効果について、以下から、あてはまると思うものをすべて選んでください。

《女性が活躍するための取組みの効果（複数回答）》

1. 男女ともに職務遂行能力によって評価されるという意識が高まった
2. 男性が女性を対等な存在として見るようになった
3. 男女従業員の能力発揮により、生産性向上や競争力強化につながった
4. 顧客や取引先からの評判がよい
5. 採用にあたって、優秀な人材を確保できた
6. 女性の管理職の人数が増えた
7. 女性の勤続年数が伸びた
8. 女性の従業員数が増えた
9. その他
10. いまのところ、目立った成果は出ていない

※ 設問24で「実施している」の「14」を選んだ事業所のみ回答してください。

設問26. 女性が活躍するための取組み（ポジティブ・アクション）が進んでいない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

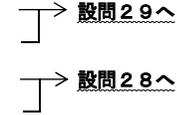
《女性が活躍するための取組みが進まない理由》

1. 女性の勤続年数が短い
2. 家事、育児、介護等の家族的責任を考慮し、配置や時間外労働等に制約がある
3. 女性に時間外労働や深夜に及ぶ業務をさせにくい
4. 女性自身が昇進・昇格を望まない、または仕事に対して消極的である
5. 女性が活躍するための取組みの具体的な手法がわからない
6. 管理職の日常の業務が忙しく対応する余裕がない
7. 男性管理職の認識、理解が不十分である
8. 男性従業員の認識、理解が不十分である
9. 女性が少ない、いない
10. 自社にとってメリットがない
11. その他

設問27. 貴事業所の女性の管理職登用はどのような状況ですか。

《女性の管理職登用の状況》

1. 進んでいる
2. ある程度進んでいる
3. あまり進んでいない
4. 進んでいない



※ 設問27で「3」または「4」を選んだ事業所のみ回答してください。

設問28. 女性の管理職登用が進まない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

《女性の管理職登用が進まない理由》

1. 必要な知識、経験、判断力等を有する女性がいらない
2. 現在役職に就くための在籍年数を満たしている女性がいらない
3. 勤続年数が短く、役職者になるまでに退職してしまう
4. 時間外労働が多い、または深夜業がある
5. 全国転勤がある
6. 家庭責任を多く負っているため、責任のある仕事に就けられない
7. 仕事がハードなので女性には無理がある
8. 女性自身が管理職となることを希望しない
9. 女性が少ない、いない
10. 従業員が少なく、性別に関係なく管理職のポストが少ない
11. その他

【多様な働き方】

設問29. 貴事業所では雇用形態を転換する制度がありますか。非正規社員・職員から正規社員・職員への転換および正規社員・職員から非正規社員・職員への転換それぞれについて、該当する番号を選んでください。

《雇用形態の転換制度》

	制度があり、 実際例もある	制度はあるが、 実際例はない	制度はないが、 実際例はある	制度も実際例も ない
非正規社員・職員から 正規社員・職員へ	1	2	3	4
正規社員・職員から 非正規社員・職員へ	1	2	3	4

【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）経営】

設問30. 貴事業所において、対応すべき経営課題として認識しているものは何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

《対応すべき経営課題（複数回答）》

1. 仕事の生産性が低い
2. 優秀な人材の確保が困難である
3. 従業員の定着率が低い
4. 従業員がイキイキとしていない
5. 従業員の心身の健康
6. 出産・育児を機に女性従業員が退職してしまう
7. 介護のために従業員が退職してしまう
8. 従業員のニーズに合った労働時間制度が整備されていない
9. 過重労働が常態化している
10. 在宅勤務などの柔軟な働き方、多様な人材に対応できない
11. その他
12. 特にない

設問31. 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関してどのような取組みを実施していますか。また、現在は実施していないが今後実施したい取組みはありますか。それぞれについて、あてはまる番号をすべて選んでください。

《ワーク・ライフ・バランスに関する取組み（複数回答）》

	実施している	現在は実施していないが今後、実施したい
労働時間削減の取組み	1	1
年次有給休暇取得推進	2	2
従業員の心身の健康支援	3	3
従業員の自己啓発支援	4	4
出産・育児支援	5	5
介護支援	6	6
在宅勤務などの多様な働き方支援	7	7
従業員の地域活動支援	8	8
家族への職場紹介・参加等	9	9
その他	10	10
特にない	11	11

「実施している」の「1」～「10」のいずれかに該当する場合は設問32へ

「実施している」で「11」を選んだ場合は設問33へ

※ 設問31で「実施している」の「1」～「10」のいずれかを選んだ事業所のみ回答してください。

設問32. ワーク・ライフ・バランスに関する取組みは、貴事業所の経営に関してどのような効果がありましたか。あてはまる番号をすべて選んでください。

《ワーク・ライフ・バランスに関する取組みの効果（複数回答）》

1. 仕事の生産性が向上した
2. コストが削減できた
3. 会社のイメージが向上した
4. 従業員の仕事への意欲が向上した
5. 会社に対する満足度が向上した
6. 従業員の心身の健康が向上した
7. 従業員の時間管理能力が向上した
8. 女性従業員の定着率を高めた
9. 男性従業員の定着率を高めた
10. 従業員の採用に効果があった
11. その他
12. 特にない

【メンタルヘルスケア（心の健康対策）】

※メンタルヘルスケア（心の健康対策）については、正規社員・職員と非正規社員・職員を含めた従業員について回答してください。

設問33. 貴事業所では従業員に対してメンタルヘルスケアを実施していますか。

《メンタルヘルスケア（心の健康対策）を》

1. 実施している → 設問34へ
2. 実施していない → 以下の設問の回答は不要です。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

※ 設問33で「1」と答えた事業所のみ回答してください。

設問34. どのような方法でメンタルヘルスケア（心の健康対策）を実施していますか。該当する番号をすべて選んでください。

《メンタルヘルスケア（心の健康対策）の実施方法（複数回答）》

1. 専門家によるカウンセリング
2. 定期健康診断における問診
3. 職場環境の改善
4. 従業員に対する教育研修、情報提供
5. 従業員が日常的に接する管理監督者に対する教育研修、情報提供
6. 事業所内の産業保健スタッフ、人事労務担当者に対する教育研修、情報提供
7. その他

設問は以上です。お忙しいなかご協力ありがとうございました。

秘

平成26年労働条件実態調査(回答用紙)

(記入不要)

No. []

事業所名(送付先の事業所)

所在地	資本金 万円
担当者 所属・氏名	従業員数合計 (本社・支社など含む) 人
電話番号 ()	冊子の送付を希望する場合はこの欄に○印をご記入ください ⇒

あらかじめ番号が記入されている箇所については、該当する番号に○をしてください。それ以外の箇所については該当する番号または実数を記入願います。

設問01 事業内容は []

設問02 正規社員・職員数 非正規社員・職員数 派遣労働者数

男性	[] 人	[] 人	[] 人
女性	[] 人	[] 人	[] 人
合計	[] 人	[] 人	[] 人

設問03 役員 部長相当職 課長相当職 係長相当職

男性	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
女性	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
合計	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人

設問04 労働組合が []

設問05 正規社員・職員以外の従業員も []

設問06 週休制の形態 []

設問07 年間休日総数 []

設問08 1年間の年次有給休暇 平均付与日数(繰越分を除く) [] 日 平均取得日数 [] 日

設問09 年次有給休暇の取得単位 []

設問10 その他の休暇制度(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9]

その他 ()

設問11 労働時間短縮のための取組み(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

設問12 労使間の話し合いの機会 []

設問13 出産した女性 配偶者が出産した男性

出産者数(または配偶者が出産した人の数)	[] 人	[] 人
うち育休を開始した人の数	[] 人	[] 人

設問14 育児休業制度の定めが []

設問15 その他育児のための制度(複数回答)

正規社員・正規職員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
非正規社員・非正規職員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

設問16 制度の最長取得期間

短時間勤務制度	[]	所定外労働の免除	[]	フレックスタイム制	[]	始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ	[]	事業所内託児施設	[]
---------	-----	----------	-----	-----------	-----	-----------------	-----	----------	-----

設問17 子の看護休暇制度が []

設問18 最大利用可能日数 子どもが1人 [] 子どもが2人以上 []

設問19 介護休業制度の定めが []

設問20 介護休業制度の利用実績 []

設問21 その他介護のための制度(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

設問22 再雇用制度(複数回答) [1 2 3 4 5]

設問23 女性従業員の配置方針 []

設問24 女性が活躍するための取組み(複数回答)

必要である	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

設問25 女性が活躍するための取組みの効果(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

設問26 女性が活躍するための取組みが進まない理由(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11]

設問27 女性の管理職登用の状況 []

設問28 女性の管理職登用が進まない理由(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11]

設問29 雇用形態の転換制度 非正規から正規 [] 正規から非正規 []

設問30 対応すべき課題(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12]

設問31 ワーク・ライフ・バランスに関する取組み(複数回答)

実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
今後、実施したい	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

設問32 ワーク・ライフ・バランスに関する取組みの効果(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12]

設問33 メンタルヘルスクエアを []

設問34 メンタルヘルスクエアの実施方法(複数回答) [1 2 3 4 5 6 7]

※お忙しいところご協力をいただきありがとうございました